

11-6 ユカラ

「アペサクスクプ ワッカサクスクプ」

火なしに育った、水なしに育った

語り：平賀さだも

イヨチ ウン マッ語るところからだよ

Iyoci un mat

イヨチ ウン クル

余市の男

Iyoci un kur

エプ アコロ ユピ

私の兄が

ep a=kor yupi

イレシパ シリ

私を育てた様子は

i=respa siri

エネイ オカ ヒ

このようでした。

ene[y] oka hi

チアラレス

大事に

ciararesu

チトムテレス

輝くように

citomteresu

イエイカラカラ ワ

私をそのように扱い

i=e[y]karkar wa

ウ ランマ カネ

いつものように

u ranma kane

オカヤニケ
oka[y]=an h_ike

いたのですが

タネイ アナクネ
tane[y] anakne

今はもう

セモロ ポロ ノ
semor poro no

少し大きく

ウ アハナン キ コロ
u a[ha]n=an ki kor

なったので

イレス ユピ
i=resu yupi

育ての兄は

サランペ ウイペ
saranpe uype

絹の端切れを

ウ ケム トウラノ
u kem turano

針と共に

サプテ イコレ
sapte i=kore

出して私に与えました。

「コニンカラ クス
“koninkar kusu

「さて、

アコッ トウレシ
a=kor_ turesi

我が妹よ

メノコ アナク
menoko anak

女とは

ケメイキ プ ネイ ナ
kemeyki p ne[y] na

裁縫をするものだから

エケメイキ キ ヤク
e=kemeyki ki yak

お前は裁縫をすると

ピリカ ナンコロ ナン」
pirka nankor na[n]”

よいぞ (=裁縫しなさい。)

セコロ イタク コロ
sekor itak kor

そう言いながら

イコロパレ コロ
i=korporare kor

私にそれらを与えると

アハンケヨンパン
a=hankeyompa[n]

近くを縫い縮め

アトウイマヨンパン
a=tuymayompa[n]

遠くを縫い縮め

アコロパレ コロ
a=korporare kor

(兄に縫ったものを) 渡すと

イレス ユピ
i=resu yupi

育ての兄は

シイエトウウイナン
si[y]etuuyna[n]

(驚いて) 自分の鼻を押さえ

エ シパルイナ
e siparuyna

自分の口を押さえ

「アコッ トウレシ
“a=kor_ turesi

「我が妹は

ウ アシカイ カシパン」
u askay kaspā[n]”

非常に上手だな。」

セコロ イタク
sekor itak

そう言うだろう

アラム コロ オラン
a=ramu kor ora[n]

と私が思っていると

シセンピリ ウン アン コロ
sisenpir un an kor

後ろを向きながら

エピタッタラケン
epitattarke[n]

くすくす笑う

ウ キ コトム ノ
u ki kotom no

そうしているように

アネサンニヨ
an=esanniyo

そのように見受けられます。

オカ オヤク タ
oka oyak ta

別の場所では

アラム ロク ペ
a=ramu rok pe

私はそう（上手だと）思っていたのですが

ウッシウ ウタラ
ussiw utar

召使いの者たちも

オソッタンプ ネ
osottampu ne

（私が縫ったものを）お尻のつぎ当てに

カラ ワ オカ ワクス
kar wa oka wakusu

しているので

イルシカアン クス
iruska=an kusu

私が怒って

エプ アコロ ユピ
ep a=kor yupi

我が兄に

アエコイヨンヌッパン
a=ekoyonnuppa[n]

訴える

イシサウ コンナ
isis h_aw konna

憤りの声が

ウ ヤクナタラ
u yaknatara

鳴り響きます。

アナク キ コロカ
anak ki korka

けれども

パシロタ カトウフ カ
pasrota katuhu ka

(兄が召使いを) 罵る様子も

アネイランペウテク
an=e[i]rampewtek

私にはわかりません。(見受けられません)

オトウ ケシ ト タン
otu kes to ta[n]

毎日

ウ アナン カトウ
u an=an katu

暮らしている様子を

アノモンモモ
an=omommomo

つぶさに述べたのです。

ウ キ ロク アイネ
u ki rok ayne

そうして

タネイ アナクネ
tane[y] anakne

今はもう

セモロ ポロ ノ semor poro no	少し大きく
ウ アナン キ コロ u an=an ki kor	なったのですが
ネシ ナ クス nesi na kusu	そうして
アエヤイ…… アエカン ロク ペ aeyay... a=ekar_ rok pe	私がそれで（針で）作ったもの
アカラ ワ アン ペ a=kar wa an pe	私が作ったものの
トゥ ル ウトウル tu ru utur	ふたつの縫い跡の間を
トゥ ペケツ チュブキ tu peker_ cupki	ふたつの明るい光が
チオウシパカラ ciouspakar	きらめく
ウ パクノ ネイ コロ u pakno ne[y] kor	そのようにまでなると
イレス ユピ i=resu yupi	私の兄が
エネ イタキ ene itak h_i	こう言いました。
「アコッ トウレシ “a=kor_ turesi	「わが妹よ

イタカン チキ
itak=an ciki

私が言うから

ウ ピリカ ヌ ヤン
u pirka nu yan

よく聞きなさい。

シヌタップカ タ
Sinutapka ta

シヌタップカで

アペ サク スクプ
ape sak sukup

火もなく育ち

ワッカ サク スクプ
wakka sak sukup

水もなく育った

カムイ オロ ハオイペ
kamuy or [h]a=oype

神に食べさせられる^山

カムイ ネ アン クル
kamy ne an kur

神のような人が

エコロ クニ ヒ
e=kor kuni hi

お前の夫となるということが

チホツパ イ イタク
cihoppa [y] itak

言い残された言葉

ウ シンリッ イタク
u sinrit itak

先祖の言葉

ウ ネ ワ シラン
u ne wa siran

ということで

ルウエ タブ…… オカアナ
ruwe tap... oka=an a

あるのだ。

ウ ニシパ プリ u nispa puri	立派な人の風習
ウ アイヌ プリ u aynu puri	人間の風習を
エコヤイケウトウム e=koyaykewtum	お前は自分の心に
エシロマレ e=siromare	刻みつけ
キ クニ タプ タプ ki kuni tap tap	そのようにして
オカアナ」 セコロ oka=an a” sekor	暮らすのだ。」と
オトゥ ケシト タン otu kesto ta[n]	毎日毎日
イカシパオツテ i=kaspaotte	私に言いつける
オカアン カトゥ oka=an katu	その様子を
アノモンモモ an=omommomo	私は述べたのです。
ウ キ ロク アイネ u ki rok ayne	そうして
タネイ アナクネ tane[y] anakne	今はもう

シノツ ヌマツポ sinot numatpo	遊び紐を
アエリキライエ a=erikiraye	結ぶようになる
パクノ アナン コロ pakno an=an kor	くらいになり
シネ アン ト タ sine an to ta	ある日
ネコン ネ フミ nekon ne humi	どうしたこと
ウ ネ ナンコラ u ne nankor y_a	であろうか
イレス ユピ i=resu yupi	我が兄は
ウッシウ ウタリ ussiw utari	召使いの者たち
オピッタ トウラ opitta tura	皆と共に
エキムネ ワ イサム ekimne wa isam	山へ行ってしまい
シネンネ アナン sinenne an=an	私1人になりました。
ウ キ ロク アワ u ki rok awa	そうして

ウ ニサプラムタン
u nisapramta[n]

急に

シヌタプカ タ
Sinutapka ta

シヌタプカの

カムイ ネ アン クル
kamy ne an kur

神のような人を

アエポタラ ワ
a=epotara wa

案じては

ウ ウエン ルイ ウエン ルイ
u wen ruy wen ruy

胸騒ぎがする

タパン ペ クス
tapan pe kusu

こんな状態なので

カムイ コソソテ
kamuy kosonte

神の小袖を

アシリクルカサム
a=sirkurkasam-

自分の身体にあわせて

エオハ ア ア……[2]
eoha a a...

エオピラサ
eopirasa

広げて（身に着け）

トウス チパヌブ
tusu cipanup

トウスの鉢巻

ヌプツ チパヌブ
nupur_ cipanup

霊力のある鉢巻を

アエルリキクル a=erurikikur-	頭に高く
ウ プンパ カネ u punpa kane	巻いて
カネイ アワンキ kane[y] awanki	鉄の扇を
ウブソロ オマレ upsor omare	懐に入れ
ウ ウブソロ ウン タム u upsor un tam	懐刀は
アクッポケチウ a=kutpokeciw	帯に差して
ウ ソイ ワ サン マ u soy wa san w_a	外へ
ウ シキル u sikiru	向かって
ホプニ ネ イワン hopuni ne [i]wa[n]	立ち上がって
ウテレケ ネ イワン uterke ne [i]wa[n]	とび出し
アキ プ ネ コロカ a=ki p ne korka	そのようにしたのですが
コヨヤモクテ koyoyamokte	何かおかしいと

アキ プ ネ クス
a=ki p ne kusu

思ったので

ウ シヌタップカ ウン
u Sinutapka un

シヌタップカの

ウ タプ クルカシ
u tap kurkasi

上空に

コヤイトゥナシカアン
koyaytunaska=an

私は急いだのです。

エプ アキ ヒネ
ep a=ki hine

そうして

シレパアン ルウェ
sirepa=an ruwe

着いてみると

カムイ カッ チャシ
kamuy kar_ casi

神が造った城

エアシラナ
easirana

あらためて

ウ チャシ カムイ
u casi kamuy

城の神

ウ ピリカ カトウ
u pirka katu

その美しい様子を

アノモンモモ
an=omommomo

詳しく述べましょう。

アナク キ コロカ
anak ki korka

しかし

ネン エエク ヘ ワン
nen e=ek he wa[n]

どこへ来るつもりで

エ エカヘ キ? [3]
e=ek a he ki?

お前は来たのかと

ヤイヌアン クス
yaynu=an kusu

思ったので

ヘヨキ サク ノ
heyoki sak no

挨拶もなしに

アフナン ハワン
ahun=an [h]awa[n]

入って行くと

ソモ スイ クスン
somo suy kusun

まさか

インカラン クニ
inkar=an kuni

(そんな様子を) 見ようとは

アラム ロク ワン
a=ramu rok wa[n]

思わなかったのに

カムイ ネ アン クル
kamy ne an kur

神のような人は

チトウイエ アムセツ
cituye amset

仕切った寢床

ウ アムセツ カ ワン
u amset ka wa[n]

寢床の上に

ホッケ コソント
hotke kosonte

寝間着の小袖を

オスラ テク ヒネ
osura tek hine

ぱっと脱ぎ捨て

イウ ヤイラム
[i]u yayramu

油断

ウ サウレ カネ (?)
u sawre kane(?)

していたところを (?)

チキマテッカ
cikimatekka

(神のような人は) おどろか

アエカラカラ ヤクネ
a=ekarkar yakne

された

コトム コロカイキ
kotom korkayki

かのように

エアシラナ
easirana

それこそ

チキマテッカ
cikimatekka

(神なる人は) あわて

アエカラカラ コトム
a=ekarkar kotom

させられたように

エアラカパラペン
earkaparpe[n]

(神なる人は) ただ単衣だけ

ウ ヤイコノイパ
u yaykonoypa

自分に巻き付けて

ウ ソイ ワ サン マン
u soy wa san w_a[n]

外へ

ウ コヤイキラレ 出て行った
u koyaykirare

ウ キ ア コトム ように
u ki a kotom

アネサンニヨ 思われ
an=esanniyo

ウル…… ウ クルカシ 上空に
ur... u kurkasi

アネホプニ 私は飛び立ちました。
an=ehopuni

【注】

- [1] 訳は「kamuy or ipe 神に食べさせられる」（『アイヌの叙事詩』 P462）とあるのを参考にした。
- [2] この行は言いさし。
- [3] 立派な館の前へ来ていささか臆したのだが、勇気をふりしぼるために、自分に向かって言っている言葉。